

— 住学協同への実験 —

筑豊ゼミ研究会報 1月号

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター・筑豊ゼミ研究会報第 62 号 2019 年 1 月 10 日

1 月例会は 1 月 16 日(水)午後 7 時～9 時

市民遺産研究会(ログハウス)

俳句同好会で活動されている千代田さんが、俳句全般に関する情報を提供します。

古代のロマンを追う研究会

1月23日(水) 午後3時～ 会場:飯塚市歴史資料館

2019 年度の古代祭りについて

飯塚(中心市街地)このままで委員会

1月25日(金) 7時15分 会場:飯塚市民交流プラザ

1. 市職員様向け商店街ツアーについて
2. 空き店舗お試し出店について
3. その他フリートーク

住み続けたいまち・住んでみたいまち～勝手に提案研究会

1 月の例会は、休会します。

つかこうへいと筑豊研究会

1 月の例会は、休会します。

2月例会: 2月23日(第4土曜日) 13:30～15:30

場所:善照寺 嘉麻市上西郷 590 番地 ☎ 0948-57-0645

情報発信/データデザイン研究会(3号館3階3304-B:情報工房):

学生ビジネス研究会

活動計画:プレスリリースに向けて、商品の完成と商品を置いてもらえるお店の探索を行いたいと考えています。

筑豊ゼミ・研究会報告

市民遺産研究会

会長 白神 精一

例会の前半 1 時間は、「勝手に提案研究会」の勉強会に合流して、片島まちづくり協議会会長、まちなかイルミネーション大作戦の会長などの要職の傍ら、郷土史、特に「飯塚の歴史」について研究されている竹下茂木さんの講演を受講した。詳細は4ページの「勝手に提案研究会」の活動報告にありますが、地元愛にあふれる竹下さんの話に、あっという間の一時間だった。

その後、市民遺産研究会の例会では、地域づくりセンター小野理事長の叙勲にちなんで、山下さんが「勲章と褒章」について報告された。日本国の勲章と褒章の一覧表、最高権威である「大勲位菊花章頸飾」の受賞者名も興味津々。

「文化勲章」と「文化功労者」の違い、勲章には年金がなく、文化功労者のみに終身年金が支給されますが、文化勲章受章者は前年までに文化功労者になっている人から選ばれますし、例外的に文化功労者を経ずに文化勲章を受章する場合は併せて文化功労者になります。

歴代の層々たる受賞者のなかで、特筆ものは俳優の故森繁久彌。彼は褒章 2 度(藍綬、紫綬)、勲章も 2 度(勲 2 等瑞宝章・文化勲章)のほか、文化功労者と国民栄誉賞も受けている。

市民遺産研究会としては 15 日開催された田川市民会館での筑豊炭田遺跡群リレー講座に引き続き、飯塚市コミュニティセンターで1月開催のリレー講座への事前勉強に長弘先生が参考資料を配布され、リレー講座への期待が一層高まった。

古代のロマンを追う研究会

会長 藤江文雄

飯塚（中心市街地）このままで委員会

～飯塚のまちについて何でも語ろう～

委員長 縄田 真照

2018年12月20日(木)

19時15分 市民交流プラザ

出席者7名

1. 市職員様向け商店街ツアー

2月22日(金)15:00～17:00 店舗は後日決める。試食やお酒の試飲が出来る店を。

チラシデータが出来次第、産学振興課の田松さんをお願いして、市役所の掲示板で案内して頂く。

2. AMP 山田氏より、12月百縁市の様子を報告して頂いた。

・百縁市の客層の高齢化の問題。5年、10年先に今までのお客が来てくれるのか。当日はファミリー層が普段より来ていたが、全国地域と比べればかなり少ない。土曜日開催なのに、平日開催と同じやり方。ゲーム券を事前に配付する。店頭にはゲームをしている店が数店舗あったが、チラシに載っていない。

・元野木書店は店内でゲーム(サイコロ)をして、20枚程のゲーム券を回収した。若い人は、その場で食べられるものが必要。食ブースの充実。平日開催の時でも、店頭でゲームをした方がいいのではないか。

・チラシの地図に子育てひろばで休憩出来る表示を。ピクニカ共和国も誘導するのぼり旗や看板があれば良かった。チラシをポスティング。

3. 第2回空き店舗お試し出店について

2月14日(木)～19日(火)の6日間 10時～16時

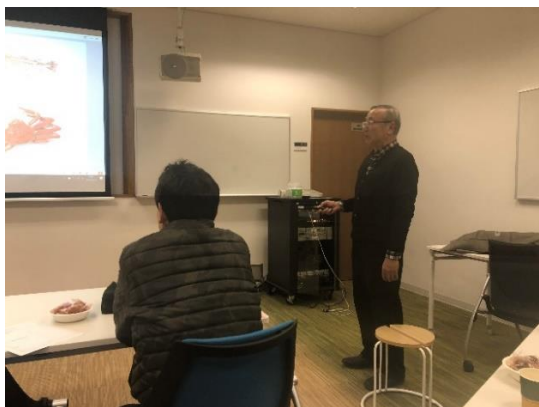
出店先は本町2店舗、東町2店舗を予定。チラシやFBなどで告知する。前回参加者にも必要ならば声をかける。つなぐカフェの学生も参加予定。

住み続けたいまち・住んでみたいまち～勝手に提案研究会

会長 六谷 拓也

2018年12月19日(水) 19時00分～ 近畿大学産業理工学部 4103教室にて12月例会を行いました。(レクチャーには、市民遺産研究会の方々にもご参加いただきました。)

今回は、飯塚の歴史や建築に造詣が深い竹下茂木氏に「飯塚の歴史的な面から見たまちの繋がり」をテーマにレクチャーをしていただき、ディスカッションを行いました。



現在の遠賀川は、上図のように人工的に流れを変えた姿だったことに衝撃を受けました。

川の付け替えにより本町周辺が一体化され発展していった半面、新飯塚駅周辺は遠賀川で分断された後に発展したのでまちの成り立ちが違うとのことでした。

遠賀川の変化は、まちの再構成が行われると同時に治水対策が進められることとなり現在のまちなみと密接にかかわっています。

飯塚の都市規模を考慮すると、成り立ちは違えども遠賀川の美しい景観を生かし、新飯塚、本町、菰田地区をつなげ、点ではなく面的にまちとしてより一体感を感じられるような仕掛けを考えていくことが重要だと改めて考えさせられました。

昔の飯塚の様子を少しだけ・・・

・昭和通りの開通 昭和7年に飯塚橋が完成し、昭和8年には飯塚駅前から片島までの昭和通りが産業道路として開通しました。市内で最も広い通りとなり、東町角には筑豊で初の百貨店として四階建ての丸一百貨店が開業し、夜になると通りの頭上にはネオンサインが輝き大都会を彷彿とさせる町並みとなりました。当時の商店街の店舗数は、**本町80店・東町と向町78店・菰田駅通り109店・昭和通り39店・西町40店の合計347店**でした。



昭和通りも当時としては、先進的な通りだったようです。また橋も多く架けられ街の発展に大きく寄与したそうです。

ちなみに、吉原町は、葦の原っぱが広がっていたところから名づけられたそうです。

新飯塚商店街の発展の様子です。



田んぼが広がっていたのですね。急速に発展していった様子が分かります。

市役所が現在の位置に移転したのは54年前のことだそうです。(移転前は、現在の飯塚郵便局の場所にありました。)

今後は、まち歩きを行い実際に歩いてみて、次の「仕掛け」を考えていく予定です。

❀つかこうへい生誕70年記念ツアー公演劇団「9PROJECT」大分公演を観劇

「日本の芝居を変えた男」や「つかこうへい以前、つかこうへい以後」と言われ、1970～1980年代にかけて演劇界に大きな影響を与え、「つかブーム」旋風を巻き起こしたつかこうへい氏。

つか氏は1994年、北区と協力して「北区つかこうへい劇団」を設立(2011年解散)。また1996年には大分市と協力して「大分市つかこうへい劇団」を設立(2000年解散)。1998年には北海道北広島市に「つかこうへい北海道演劇人育成セミナー」を開設するなど、地方からの文化の発信を目標に演劇活動に力を入れていましたが、2010年7月10日、肺がんのために62歳で亡くなりました。

去年は、つか氏の生誕70年を迎え、いろんな劇団でつか氏の芝居が各地で上演されました。

「つかこうへいと筑豊研究会」では、「北区つかこうへい劇団」の解散後に、劇団員の9期生だった渡辺和徳、小川智之、高野愛の3人で設立した「9PROJECT」の、『つか版 忠臣蔵』(大分公演10月24～25日)を観劇しました。

「9PROJECT」は設立以来70～80年代のつか作品を中心に活動している劇団です。

この作品は、つか氏が1982年、第1次演劇活動の拠点・劇団「つかこうへい事務所」を解散し、その打ち上げに書いたもので、その年の大晦日のNHKの「紅白歌合戦」の裏番組としてテレビドラマ化され、話題となりました。「つか版」といわれるように、「これから始まる物語はフィクションであり、史実、時代考証を超越し、人間関係、生活パターンを無視した現代ドラマである」と、テレビドラマの最初に注意書きが表示されたとか・・・。

日本人にお馴染みの『忠臣蔵』も、「つか版」では過去の傑作を巧みにアレンジしながらも、つか芝居の真骨頂というべきか、過激で、破壊的で、しかもお馴染みの三角関係の設定で事件が勃発。登場人物の人間性を鋭く描く手法で、観客を魅了します。

芝居が終わった後、劇場のあちらこちらにたむろしている観客の姿が見られ、不思議に思っていると「つか芝居は、観客がすぐに劇場から出て行かず、芝居を振り返るかのように感想を観客同士で語り合い、確かめ合っているんですよ」と劇団関係者。これこそが、つか芝居のマジックなのです。

❀つか氏が闊歩した大分市

翌日は、元「大分市つかこうへい劇団」の衛藤延洋氏と田中竜一氏に、大分でのつか氏の足跡を訪ねて市内を案内して頂きました。衛藤氏は「大分市つかこうへい劇団」の設立に尽力された一人で当研究会でも講演をして頂くなどご協力を頂いております。また、田中氏は劇団員のオーディションに長崎から大分に駆けつけて入団。病院事務が出来た事から、つか氏の紹介で市内の今村病院で事務仕事をする傍ら劇団活動に励まれていたとの事。

つか氏の下には連日のように東京から出版社の編集者や演劇関係者の来客が引っぱり無しに訪れ、連日連夜飲み明かしては必ず田中氏が勤務する今村病院に駆け付けては点滴を打つのが日課で、劇団事務所に通う日々だったといえます。

その「大分市つかこうへい劇団」の稽古場や事務所は、今村病院から歩いて10分ほどの場所にありましたが、4階建てのビルは老朽化で、4～5年前に解体され、現在は市の駐車場と化していました。また、大分市は駅舎をはじめ、駅周辺は新しいビルが建ち、つか氏が闊歩したであろう同じ道を歩きながら、あまりにも変容に20年という月日を感じた次第です。衛藤さんと田中さんに案内されていった居酒屋食堂「てんてん」は、つかさんがよく利用された店の一つで、昼食をいただきました。「つかさんと出会わなかったら、公務員として平凡に終わった」と語る衛藤さんは、現在は大分市議会議員として活躍され、市内を案内してもらっている時も、いろいろな人から声を掛られ、慕われている様子がうかがい知れました。

また田中さんは、現在も今村病院に勤務されていました。

衛藤氏に市内を案内して頂きながら、「私(池田)は父親の実家が大分市は坂ノ市」と話すと、衛藤氏が市役所時代に坂ノ市に池田という先輩がいて親しくされているというお話を聞き、同一人物かなと思って帰ってきました。

そして今年、本家から届いた年賀状に「東京在住中に毎年つかこうへい劇団の新人オーディションの審査委員に関わり、新宿紀伊国屋ホール『売春捜査官』の公演にも関わっていた」と記されておりびっくりいたしました。両親が亡くなり、本家との交流も疎遠になって久しかったのですが、池田家のルーツを求めて3～4年前に本家を尋ねたものでした。そしてこの度、その本家ともつかこうへい氏を通して繋がりがあったことに不思議な「ご縁」を感じたものでした。

❀つか氏の生前の貴重な稽古風景や公演のCDも

また、この大分公演では、つかこうへい氏の作品集を筑豊の図書館等にご寄贈をいただいた(株)トレンドシェアの吉川明希さんが東京から駆けつけてこれ、これまでは手紙だけのやり取りだけでしたが、突然にご本人が目の前に現れた時は、暫らくは信じられませんでした。吉川さんは、9 PROJECTの公演を欠かさずに観劇されておられるとの事。この日も大分公演が千秋楽というので駆け付けられ、つか氏が生前に撮られた稽古風景や公演の貴重なCDやつか氏の晩年の写真など研究会に持参して頂きました。

当研究会の資料とし大切にするとともに、今後の研究会で皆さんとCDを鑑賞してつかさんの作品に触れていきたいと考えています。

◇つかこうへい氏の作品集寄贈の取組みについて

昨年、(株)トレンドシェア様より、つかこうへい氏の作品全集(32冊)を筑豊の図書館や大学などにご寄贈戴きました。ありがとうございました。ご寄贈戴いた図書館と大学等は以下の通りです。

嘉麻市立嘉徳図書館、同碓井図書館、同山田図書館、飯塚市立図書館、田川市立図書館、桂川町立図書館。近畿大学産業理工学部福岡キャンパス、近畿大学九州短期大学、田川市石炭・歴史博物館等。

尚、トレンドシェアのHPに「つかこうへい作品集」が紹介中です。

<https://www.trend-share.com/books.html>

会報 No.4 は筑豊ゼミのホームページにアップしています。

<https://chikuzemi.com/wp-content/uploads/2019/01/37c41ac18a1be5abe549bab586143b7a.pdf>

活動報告

学生ビジネス研究会

会長 安藤旭信

活動報告

12月は本格的に、フェアトレード豆を使った商品にすべく、よつば珈琲さん協力のもと、試飲会を行いました。

近畿大学産業理工学部が関係しているペルーの豆をフェアトレード豆にすることはもちろんのこと、そのブレンドに使用する他の豆も、フェアトレード豆を使い試飲、ならびにブレンドを行いました。

今回はブレンドの決定とまではいきませんでした。ブレンドとして使う豆を、ある程度絞ることができました。

1月の末～2月の中旬までには商品として販売できるように、商品完成はもちろんのこと、チラシの作成、SNS上での広告活動などにも力を入れていきたいと思っています。



写真は試飲会の様子です。

情報交差点

筑豊ゼミ：<http://www.chikuzemi.com/>

e-mail：chair@chikuzemi.com(運営委員長)

：sec@chikuzemi.com(事務局長)

筑豊地域づくりセンター：<http://www.chikuhou-jugaku.org/>

しんいづか商店街振興組合 新春研修会 案内

日時：1月 18日(金) 18時30分～19時10分

開催場所：のがみプレジデントホテル

テーマ：新飯塚商店街実証実験をおえて[仮題]

講師：小池 博 准教授(Doctor of Design /Harvard Graduate School of Design)

近畿大学産業理工学部 建築・デザイン学科 建築設計研究室

「勝手に提案研究会」と近畿大学産業理工学部 建築デザイン学科 小池ゼミとのコラボで一昨年からの継続的な取り組んでいる「飯塚つなごうPROJECT」の一環として、毎月の例会で検討を重ね、昨年5月13日、および10月28日の2回にわたり、しんいづか商店街にてデザイン実証実験を行いました。

新春研修会では、小池准教授に「新飯塚商店街実証実験をおえて」[仮題]と題してお話いただきます。

まちおこしに関心のある多くの皆様のご参加を期待しております。

なお、この新春研修会はしんいづか商店街振興組合の「新春研修会及び新年祝賀会」の第1部（第2部は新年祝賀会で関係者のみとなり参加できません）として企画されたもので、広く市民に公開することで、振興組合のまちおこし活動を知っていただく場になりたいと考えています。

「爆破インスタ」参加者募集中

日時：1月 20日(日) 10時～16時

開催場所：道の駅いとだ：田川郡糸田町162-4

池のおく園：田川市関の山3782-1

料金：15,000円(撮影体験+ベルセゾンナカムラでの昼食)

『爆破インスタとは』

昭和の刑事ドラマやアクション映画等によくある爆破の中を、パトカーが走るようなシーンを実際に再現し、一般参加者がパトカーに乗車して体験。

自らスマホ等で車内から撮影して、インスタ・SNS等で配信してもらう体験型撮影イベントです。

「爆破インスタ」サンプル映像：<https://youtu.be/pnwnvsw0y9E>

ホームページ <https://www.project-chikuhou.com/>

飯塚商店街 1月のイベント情報

●東町新春えびす祭り

日 時:1月 8日(火)12時 開催場所:東町三叉路広場

御座券:1,000円

●本町十日恵比須祭り

日 時:1月 10日(木)12時 開催場所:本町健幸プラザ多目的室(ダイマル跡)

御座券:1,000円

家内安全、商売繁盛、無病息災、五穀豊穰を祈願する神事の後に、縁起物の景品が当たる抽選会があります。空くじなしで、他にもお土産付き。新年最初の運試しをしてみてください。御座券は各商店街事務所にて販売。当日券もあります。

●飯まち土曜マルシェ

日 時 1月19日(土)10時～15時 場 所 街なか子育てひろば前付近(アーケード内)

街なか子育てひろば付近の商店街アーケード内で、からあげやチャーハン、パン、シフォンケーキ、野菜詰め放題などの出店があり、市場(マルシェ)のような賑わいを演出します。

毎月第三土曜日は、街なかのマルシェでお楽しみ下さい。

●第85回 いいづか商店街ツアー参加者募集

日 時:1月25日(金)13時～15時 開催場所:飯塚商店街界限

参加費:無料

募集人数:10名(申込み多数の場合は抽選)

「お店は知っているけど入ったことがない」「知らない店には一人じゃ入りにくい」など、行ってみたい店はあるけど、きっかけがなくてそのままになっていませんか? 商店街ツアーに参加すればみんなで行くので、気兼ねなくお店を見て回れます。今回も街なか案内人のガイドで、6店舗をご案内します。

お気軽にご参加下さい。

お申込み・お問い合わせ 飯塚商工会議所 TEL 0948-22-1007

発行: NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター 第31期筑豊ゼミ

責任者: 第31期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清

編集者: 第31期筑豊ゼミ運営委員会事務局長 主税 洋三

住 所: 〒820-8555 飯塚市柏の森 11-6 近畿大学産業理工学部気付 第31期筑豊ゼミ

連絡先: 090-9485-5985 (運営委員長 菊川) 090-8624-2886 (事務局長 主税)

e-mail: chair@chikuzemi.com (運営委員長) sec@chikuzemi.com (事務局長)